

歯科保健と食育の在り方に関する検討会について

1. 目的

近年、口腔の健康と全身の健康との関係が注目されており、その基盤となる小児期から「食育」を推進していくことは重要である。また、平成 19 年 4 月に策定された「新健康フロンティア戦略」においても、食育の推進について謳われている。

「食育」については、平成 19 年 6 月に、日本歯科医師会等関係 4 団体から「食育推進宣言」が発表されるなど、関係団体からの関心も非常に高い。

一方で、8020 運動が提唱されてから平成 20 年に 20 周年を迎え、これまでの対策に加え、「食育」への関わりや、高齢者への対策など、新たな観点から歯科保健対策を推進していくことが求められているところである。

このことから、本検討会では、歯科保健の視点を含め、様々な立場から「食育」を推進していくための方法を検討することとする。

2. 検討事項

- (1) 歯科保健と食育の在り方に関する事項
- (2) その他

3. 検討会開催状況

第 1 回検討会（平成 20 年 12 月 24 日）

- ・ 歯科保健と食育の在り方に関する意見交換

第 1 回ワーキンググループ（平成 21 年 1 月 27 日）

- ・ 歯科保健と食育の在り方に関する論点の抽出

第 2 回ワーキンググループ（同年 3 月 3 日）

- ・ 各関係機関の食育推進における取り組みについて
【日本歯科衛生士会、足立区、日本食生活協会】

第 3 回ワーキンググループ（同年 4 月 21 日）

- ・ 歯科保健と食育の在り方に関する論点整理
- ・ 「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」報告書（素案）について

第 4 回ワーキンググループ（同年 6 月 3 日）

- ・ 「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」報告書（素案）について

第 2 回検討会（同年 6 月 30 日）

- ・ 「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」報告書（案）について